

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 27日

事業所名 相好トランポリンクラブ・児童福祉センター四日市 保護者等数(児童数)32名 回収数 18名 割合 56%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	5		2	勉強していただいているので安心できる	引き続き、自己研鑽や研修に努めます
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1		3		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	13	1		3		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13	2	1	2		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2		15	今すぐの必要性を感じない/交流が苦手なので今のままで満足している	コロナ感染等も考慮しながら、必要性等について検討していく
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1		1	何かアクシデントが起きても必ず教えてもらっている	通所時・帰所時、必要に応じてお話の場を設けて、共通理解に努めます
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	3	1		8で通所時、様子を伝えて頂いているので不満はない	通所時・帰所時や指導中、必要に応じて事業所内相談支援を行っていく
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	6	8	保護者同士の連携は無くても大丈夫/コロナのためでもなさそう	コロナ感染等も考慮しながら、必要性等について検討していく
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1		8	親からの苦情はないが、本人の困りごとがあった時適宜対応してもらっている	苦情要望へのお申し出がしやすいよう環境を整備する
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	4		4		
	14	個人情報に十分注意しているか	14	1		3		
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1	7		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2		12		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1				
	18	事業所の支援に満足しているか	18					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。